



2024年11月5日

各位

会社名 不二ラテックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 近藤 安弘
(コード: 5199 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役上席執行役員
管理本部長 金原 辰弥
(TEL 03-3293-5686)

2025年3月期第2四半期(中間期)業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

2024年5月15日に公表いたしました2025年3月期第2四半期(中間期)(2024年4月1日~2024年9月30日)の業績予想数値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)業績予想数値と実績値との差異

(1) 連結業績予想数値と実績値との差異(2024年4月1日~2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,900	240	230	160	126.20
今回実績(B)	3,639	134	119	58	45.82
増減額(B-A)	△260	△105	△110	△101	
増減率(%)	△6.7%	△43.8%	△47.9%	△63.7%	
(ご参考) 前期中間期実績	3,866	247	239	173	137.00

(2) 個別業績予想数値と実績値との差異 (2024年4月1日～2024年9月30日)

	売上高	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,890	230	160	126.20
今回実績(B)	3,574	120	60	47.68
増減額(B-A)	△315	△109	△99	
増減率(%)	△8.1%	△47.7%	△62.2%	
(ご参考) 前期中間期実績	3,798	237	173	136.52

(3) 差異の理由

2025年3月期中間連結会計期間の業績につきましては、主力事業である精密機器事業において主に海外経済の減速及び生産設備需要の停滞に伴い受注が弱含みで推移したため、精密機器セグメントの売上計画対比で8.4%程度の減収となりました。また、医療機器事業は前期対比で増収となったものの、期中でヘルスケア部門の製造拠点である栃木工場におけるコンドーム製造事業停止を決定したこともあり、医療機器セグメントの中のヘルスケア部門の売上計画対比では11.1%程度の減収となりました。その結果、連結売上高は業績予想対比で6.7%の減収となりました。

連結営業利益は、売上減少に伴う生産高調整による生産効率低下や栃木工場の製造事業停止に伴う一時的な費用計上の影響で原価率が全社原価率計画対比で2.2%上昇した影響が大きく、売上減少による減益と併せて減益要因が販管費削減効果を大きく上回ったため、業績予想対比で43.8%の減益となりました。

連結経常利益は為替差損の増加や補助金収入の減少が影響し、業績予想対比で47.9%の減益となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益は、栃木工場閉鎖決定に伴う建物等の減損処理や希望退職者募集に伴う割増退職金など工場閉鎖関連費用102百万円を特別損失に計上したため、業績予想対比で63.7%の減益となりました。

個別の業績につきましても連結と同様の理由によるものです。

2. 今後の見通し

2025年3月期の通期業績予想につきましては、本件以外の要因を含めて、適正かつ合理的に算定することができ次第、修正を公表いたします。

以 上